

課題番号：処-204

課題名	廃炉プロセス「処理・処分・環境回復（燃料に由来するα核種が含まれる廃棄物含む）」 検討対象「処分概念」 課題「性能評価」	時間軸情報	汚染水対策				
			使用済燃料プールからの燃料取り出し				
段階	Design		燃料デブリ取り出し				
			PCV/RPV/建屋の解体				
ニーズ	望ましい状態とその理由		輸送・保管・貯蔵				
			処理・処分・環境回復				1,2,3,4
			（参考）関連する研究課題				
1	安全性の評価方法を選定する手法を構築したい。 ●既存の廃棄物と異なる特性を持っている事故廃棄物もあるため、廃棄物の特性に応じて適切な手順で安全評価技術を選定する知見や標準的な手法を整備することが望ましい。		【実施されている研究課題】	特になし			
			【検討されている研究課題】	特になし			
2	安全評価を高度化したい ●既存の廃棄物と異なる特性を持っている事故廃棄物もあるため、性能評価上の課題の検出と対策立案に関する技術、不確実性の小さい性能評価技術を開発・高度化することが望ましい。		【実施されている研究課題】	H31年度英知「高い流動性および陰イオン核種保持性を有するアルカリ刺激材料の探索と様々な放射性廃棄物の安全で効果的な固化」			
			【検討されている研究課題】	特になし			
3	評価パラメータを整備したい。 ●既存の廃棄物と異なる特性を持っている事故廃棄物もあるため、性能評価用の評価パラメータを整備することが望まれる。		【実施されている研究課題】	H27年度英知「高汚染吸着材廃棄物の処理処分技術の確立と高度化」 H31年度英知「高い流動性および陰イオン核種保持性を有するアルカリ刺激材料の探索と様々な放射性廃棄物の安全で効果的な固化」			
			【検討されている研究課題】	課題リスト「処分環境に留意したウラン化学種の整理」 課題リスト「不飽和帯における核種移行評価手法の高度化」 課題リスト「放射性セシウムの中環境中変化と生体動態」			
4	廃棄体の品質を確認したい。 ●放射能インベントリの把握のため、難測定核種の放射能濃度が推定できることが望まれる。		【実施されている研究課題】	特になし			
			【検討されている研究課題】	特になし			
関連する課題		処-101「性状把握」 処-201「減容化手法」 処-202「廃棄体化手法」 処-203「処分概念の構築」 処-302「処分概念に応じた処分技術」					